

室内用

電波時計 取扱説明書

(タイマー付デジタル電子音目覚まし時計)

ご購入いただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 リズム株式会社〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2205)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、ご購入上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえご利用ください。ご購入上げ販売店でのアフターサービスが受けられないときは、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、本体裏面に表示してある型番をお伝えください。
例 8RZ○○○ (○印は数字です。)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ㊄は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

㊄は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

❗ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

❗ 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

❗ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、ご購入上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

❗ 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

❗ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

❗ ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

❗ 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

❗ 液晶から漏れた液に素手でさわらない
液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

❗ 下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

おもな製品仕様

| | |
|----------|----------------------------------------------------------|
| 使用温度範囲 | -10～50℃ (液晶表示可読温度範囲0～40℃) *結露しないこと |
| 時間精度 | 標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度) |
| 使用電池 | 単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個 |
| 電池寿命 | 約1年 (1日当たり、アラームを30秒鳴らした場合) |
| 標準電波受信局 | 標準電波を受信して日付・時刻を修正 福島局/九州局 |
| 受信回数 | 4回/日(最大) |
| 受信開始時刻 | 午前2時～5時 各時間帯の0分0秒に開始 ※受信時刻内で受信に成功すると、その日は受信を行わない |
| 受信ON/OFF | なし |
| アラーム機能 | セットした時刻にアラームが鳴る |
| アラーム精度 | 表示時刻に対して±0秒 |
| アラーム音 | 電子音 |
| スヌーズ | アラーム音が約5分間の一時停止 ※分表示カウントダウン |
| オートストップ | アラーム音が連続3分で自動停止 |
| カレンダー | 2017～2099年対応 |
| 温度表示 | -9.9～50℃ |
| 温度精度 | ±2℃ |
| タイマー | 3分/5分/15分/30分 ※分表示カウントダウン |
| 照明 | ボタンを押すと約5秒間照明 |
| 防滴防塵機能 | なし |

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。

40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 取扱説明書・保証書 本書

| | |
|---------------------|----------------------------|
| ※品名・型番 | |
| ※保証期間 | ご購入後 年 月 日より 1年間 |
| お客様 | ご氏名 _____ 様 |
| | ご住所 _____ |
| | TEL(_____) _____ - _____ |
| ※販売店印(所在地、店舗名、電話番号) | |

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計ご購入上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、ご購入上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- ネット通販をご利用の場合は、レシートや領収書を添付してください。
- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
8. 電池の交換。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

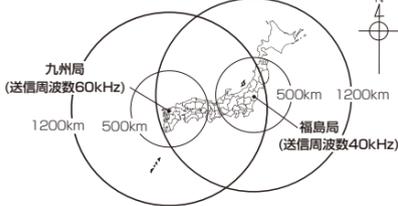
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でのご使用はお勧めできません。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

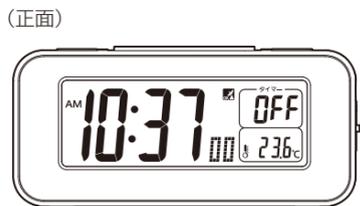
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

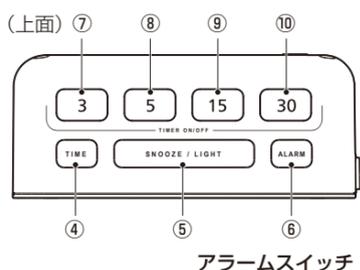
電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

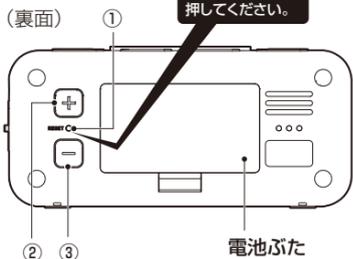
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



※液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

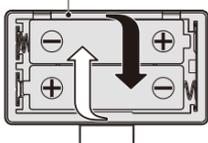


- ①RESET(リセット) 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。
- ②+(進む) アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
- ③-(戻る) 「-」の長押しで電波の受信を開始する。(強制受信)
- ④TIME(時刻合わせ) 手動で日時を合わせるときに使用。押しやすく離すと月日と曜日を表示。
- ⑤SNOOZE(スヌーズ)/LIGHT(ライト) アラーム音の一時停止とライトボタン兼用。
- ⑥ALARM(アラーム) アラーム時刻を合わせるときに使用。
- ⑦⑧⑨⑩タイマー(3分/5分/15分/30分) 表記の数値の分タイマーをON/OFFするとき使用。



電池の入れかた

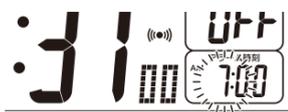
⇒取り外す
←取り付ける



注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入ると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる



| | | |
|-------|---------|-------|
| ボタン | 押してすぐ離す | 押し続ける |
| +(進む) | 1つ進む | 早送り |
| -(戻る) | 1つ戻る | 早戻し |

- ①アラーム時刻の「時」が点滅するまで、「ALARM」を約2秒間押し続ける。
- ②「時」「分」を「+」または「-」で合わせ、それぞれ「ALARM」を押して数値を確定させる

※約15秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
 ※必要に応じてアラームスイッチのON/OFFを切り替えてください。
 ※温度表示時に「ALARM」を押してすぐ離すと約5秒間アラーム時刻を表示します。

アラームのON/OFF設定



アラームスイッチ

| | |
|-------------|---------------|
| ON | 設定時刻にアラームを鳴らす |
| アラームマーク (●) | 表示。 |
| OFF | 止める、鳴らさない |
| アラームマーク (●) | 消える。 |

※アラームON時は温度表示部にアラーム時刻が表示されます。
 ※アラーム時刻表示時に「ALARM」を押してすぐ離すと約5秒間温度を表示します。

スヌーズ(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに「SNOOZE」を押すと、Zマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目に「SNOOZE」を押すと、アラームは止まりますが、Zマークが消えて、アラームはONの状態*になります。

アラームオートストップ(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約3分で止まります。アラームマークは点灯表示で、アラームはONの状態*です。

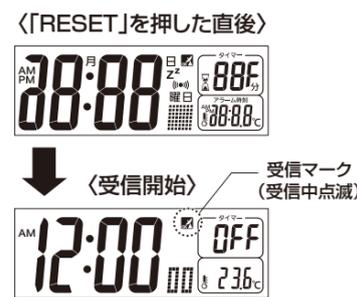
アラームご使用上の注意

- アラーム(スヌーズ時含む)が鳴り始めると、約5秒間ライトが点灯します。
 - 「SNOOZE」以外のボタンを押すと、アラームは止まりますが、アラームマークは点灯表示で、アラームはONの状態*です。
- *アラームがONの状態(アラームマーク点灯表示)のときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使用しないときは、アラームをOFFにしてください。

使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

電波を受信できない場合は、「手動での時刻合わせ」をお読みください。

【受信の流れと表示】



電源投入直後および「RESET」を押した直後は、2017年7月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前7:00に設定されます。



- 受信マークは受信成功後、自動受信を行う午前2時まで点灯表示を行う。
- 受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて「RESET」を押して再度受信を試みてください。

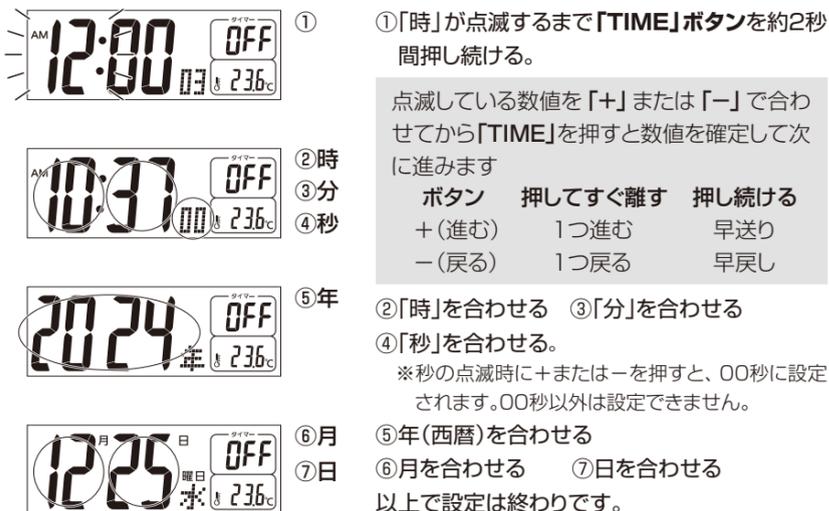
標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、「RESET」を押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせて、ご使用ください。

手動での時刻合わせ

電波が受信できない場合は、下記の手順に従い手動で時刻を合わせてください。手動で時刻を合わせても、自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。操作例に従って、時刻(時、分)、年(西暦)、月、日、の順に設定してください。
 操作例: 2024年12月25日 午前10:37に合わせる



- 約15秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

タイマー機能を使う

本体上面のタイマーボタン(3分/5分/15分/30分)を押してすぐ離すと、確認音が「ピッ」と鳴り、押した数値(分)のカウントダウンが開始されます。カウントダウンが終了すると約3分間アラームが鳴ります。アラームを止めるには、いずれかのボタンを押してください。

カウントダウンを途中で停止させるときは、いずれかのタイマーボタンを押してください。OFFになると確認音が鳴り、タイマー表示部に「OFF」が表示されます。



カレンダー表示について



「TIME」を押してすぐ離すと、カレンダー表示に切り替わります。再度「TIME」を押すか、約15秒間ボタン操作を中断すると、時刻表示に戻ります。

表示面の照明について

「SNOOZE/LIGHT」ボタンはスヌーズとライトボタンを兼ねています。ボタンを押してから5秒間、液晶表示面を照明します。照明されているときには、時計正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読みにくいことがあります。

電池の交換について

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池は1年に1回、定期的に指定の電池に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

温度表示について

センサーが時計内部にあるため、周囲の温度変化をすぐには反映しません。本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の正しい温度を表示しにくくなります。※設置する高さによっても温度が変わります。※厳密な温度管理や証明、商取引には使えません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

「H.H.H」50℃を超える高温 「L.L.L」-9.9℃未満の低温

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはRESETを押してください。

強制受信と「RESET」の操作について

強制受信

設置場所を移動したときなど、電波の受信を試みたいときは、「-」(戻る)を約2秒間押し続けます。受信に失敗しても継続して日時を表示します。
 ◎受信中に「-」か「TIME」を約2秒間押し続けると受信を停止します。
 ◎手動で時刻合わせをしているときは機能しません。
 ◎受信中にアラーム時刻になると受信を停止します。

「RESET」(リセット)

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2017年7月1日午前12:00、アラーム時刻は午前7:00に初期化されます。
 ◎受信を開始します。